

- ・日時 令和3年3月22日（月）午後2時30分
- ・場所 八代市立図書館 大集会室
- ・出席委員 浜崎委員、宮嶋委員、森下委員、丸吉委員、大坪委員、
野瀬委員、今田委員、前山委員
- ・欠席委員 上村委員、徳田委員
- ・事務局 和久田教育部次長、岩崎課長、村上課長補佐兼社会教育係長、西村主任
小出館長、吉野副統括、田上
- ・公開状況 公開
- ・傍聴者数 0名

1 開会

2 教育委員会挨拶

3 会長挨拶

4 議事

（1）運営方針に基づく令和2年度事業について（協議）

（事務局）資料をもとに図書館運営方針に沿って説明。

- ・令和2年度はコロナウィルス対策のため、開館日や開館時間については短縮を行った。
- ・図書館運営方針に基づき、「図書館の便利な使い方」調べを実施した。電子図書についても同様に実施。
- ・健康推進課と連携し「健康づくり応援図書館」を実施した。2040年問題を広く市民へ周知し、健康について考えてもらうきっかけづくりとして取り組んだ。
- ・ブックスタート事業を令和2年度から実施。コロナウィルスの影響により読み聞かせができない状態であったが、今後、コロナの状況を見ながら通常の方法でできるようにしたい。
- ・ユニバーサルデザインの取組として、今後はコミュニケーションボードの設置やピクトグラムを記載した利用案内の導入を予定。
- ・図書除菌機の設置を全館にて実施した。
- ・特別展示の開催（“色”で元気に） など

（意見等なし）

（2）移動図書館の巡回場所の見直しについて（協議）

（事務局）移動図書館巡回場所の見直しについて別紙の案をもとに説明。

（A委員）

- ・移動図書館車は新しく用意はしないということか。今現在走っている車が、壊れたら、このサービスは終了して、次のサービスに移行していくということか。

(事務局) 移動図書館車は約1,500万円かかる。費用対効果という面からも、利用者数が年々減ってきていることもあり、受益者負担、サービスに合った提供ということを考えると、新たに1,500万かけて購入するということよりは、今のサービスを充実させて、配本というやり方に変えていければと考えている。ただ、今回見直しを行って、「ぜひ、また移動図書館をやってほしい」という声があれば考えていく必要があると思っている。まだ決定ということではない。

(A委員) 可能性はまだ残っているということか。

(事務局) そうである。

(B委員) 新規場所でイオンやゆめタウンで行うのはいいなと思うが、駐車場で行うのか、店舗内なのか、車の老朽化ということもあるので、どのようなかたちで運ぶのか、など具体的な動きが分かれば教えていただきたい。

(事務局) 今日、ご提案させていただき承諾を得れば、イオンさんとゆめタウンさんのほうにお話に行きたいと考えている。まだ話はまったくしていない。これから協議をさせていただければと考えている。

(C委員) 方向性としては、ああいうところで、たくさんの方に見ていただくということは大事である。

(D委員) コミセンがあるところは、本の入れ替えをしてもらいたいという部分については、校区の図書委員がいれば、本の入れ替えをするという意味か。自分は松高校区に住んでいるが、何か月か1回、本の入れ替えをしてもらえるのか。

(事務局) 現在、図書館が本の入れ替えをしているのは、太田郷と高田だけだが、今後は基本的に入れ替えではなく、除籍した図書を置いていきたいと考えている。太田郷については実際利用もほとんどないということであった。松高については、地域の皆さまから寄贈された図書だと思うので、もっと図書がほしいということであれば、図書館にご相談いただければ、いくつか図書を提供できるのではないかと思う。

(D委員) 今並んでいるのがだいぶ古いので、新しい本が入れば、皆さん見られるのではないかと思う。

(C委員) 提案があった案でよろしいか。

(全員同意)

(3) 令和2年度取組について(報告)

かがみマンガ文庫

- ・かがみ分館の立地として、自分でかがみ図書館に来ることのできる中学生に焦点を当てて実施した。
- ・マンガ文庫開設した2月以降の貸出利用者数が激増した。せんちょう分館の倍の利用者であった。
- ・結果としては、中学生ではなく大人の利用が多い。中学生はマンガをスマホの電子図書で読んでいるようだ。
- ・ただ、思わぬ効果としては、せっかく図書館に来たので、ということで他の図書も借り

ていかれる方が多い。

- ・児童書から一般書へのシフトを子どもの身近に支えてくれる大人がいるかどうか、読書活動の推進につながるかどうかだと感じている。
- ・図書館スタッフのモチベーションアップにもなっている。

ブックスタート事業

- ・コロナの影響で本来のブックスタート事業（保護者へのしっかりした説明等）ができていないので、状況を見ながら、本来のブックスタート事業を展開していきたい。
- ・ブックスタートがあることで、八代市に住んでよかったと思ってもらいたい。ブックスタートをきっかけに、子どもたちが絵本大好き、読書大好きになって、“より良く生きる力”が付き、本が身近にある環境につながっていけばよいと考えている。

坂田文庫について

- ・R2.12月28日に本館のカウンター横に設置した。
- ・八代の文化や産業の発展に貢献された坂田道男氏と坂田道太氏の蔵書と坂田家からの寄付金をもとに購入した図書を設置している。
- ・今後は「坂田道男・道太文庫基金」を取り崩し、毎年一定額の図書を購入していく。

以上の説明についての質疑応答

(D委員) 坂田文庫には、絵画などはないのか。

(事務局) 絵画などは現在宮嶋財団のほうで所蔵されている。今後、宮嶋財団と連携して、展示会なども実施していきたいと考えている。

(C委員) マンガ文庫については、中学生が思うのほか利用がないというのは何か理由があるのか。

(事務局) 図書館に行って良かったな、また来ようという仕掛けがまだまだということだと思う。

(D委員) 図書館に行くことを冷やかされたりということもあるのでは。

(B委員) 学校では総合的な学習の時間もあるので、図書館に行ってみようというような体験があれば。

(D委員) 松濱軒でもあまり子供たちは来ない。社会科見学などで身近な施設をまわるのもひとつの方法かと思う。近くにいても中々こない。施設を見学するだけでもよいと思う。

(C委員) 図書館マルシェなどで直接本棚まで来なくても、図書館の催しに参加したり、図書館の建物に入って馴染むだけでも。そういった体験があとあと響いてくると思う。

(4) 本館の不明本について (報告)

(事務局) 資料をもとに説明

- ・図書館本館に限ってだが、指定管理以前から不明本が年間約500冊ある。せんちょう分館とかがみ分館は5冊以下である。

- ・500冊のうち、今年購入した新刊書がほとんどである。
- ・ダミーのカメラや、新刊の場所を職員寄りのところに置くなどの対策をとったが、効果がなかった。

(D委員) 本館は利用者が多いので、来館者の顔が分からないからではないか。せんちょうとかがみはだいたい来られる方を職員が知っている。顔を知られていればできない。人間の心理なのでは。

(C委員) 他市町でも似たようなことはあるのか。

(事務局) あると思う。新しく建てる図書館はICゲートを設けて対策をとったりしている。

(C委員) 県立図書館では、ロッカーに手荷物や袋類を入れてからしか、中に入らせない。それがここでできるのか、ということだろう。気持ちの問題、スペースの問題、費用なども含めてできるのかというところだろう。県立図書館は敷地に余裕があるからできる。

(E委員) 年間百万というのは大きい。

(B委員) 親子連れはカウンターで袋に入れて帰られるだろうから。

(事務局) 児童書の不明本は1冊なので、ほぼすべて大人が借りる一般書が不明となっている。

(F委員) 持っていく人は特定の人なのか。

(事務局) まったく分からない。

(F委員) たとえば新刊本だけにICタグをつけて、ゲートを通ってもらえば、全体的に不明本は無くなっていきそうだが。

(事務局) こういう事例でICゲートを導入することで、ほとんど不明本がなくなったという館が圧倒的に多いのは事実である。ただ、ゲートを設置するにもけっこうな金額がかかる。

(F委員) 年間100万というのは大きな金額だと思う。それを考えれば、ゲートを設置してもいいのかなと思う。新刊本だけにICタグを入れておけばどうか。

(C委員) 損失額を考えればある程度費用をかけてもよいのでは。

(F委員) 費用を捻出できないのであれば、購入図書を少し押さえてゲートにまわすなどを考えてもよいのでは。結局100万盗まれるのであれば。

(C委員) 5年だと500万となる。すごい額である。

(事務局) ICタグも以前よりも安くなっている。予算との兼ね合いかと思う。

(E委員) 先ほど、ゲートを設置したら改善したという話があったが、心理的にそこにゲートがあるということだけでも、見た目、持ちだしたらまずいという効果があると思う。

(A委員) 心理効果はあると思う。

(D委員) 一時的に読む程度の図書であれば、「図書館にある」ということで持ち出すのかもしれない。

(E委員) とても簡略化されているシステムであっても、手続きそのものが「面倒」という人もいる。なんでもボタンひとつの時代になっているので。

(A委員) 本を盗らないで！ではなく、いつも大切に扱ってくれてありがとう、といった

ような何かができないか。

(事務局) 今回、この協議会にて IC ゲートの導入についてご意見いただければ、来年度予算に盛り込みたいという思いがあり、今回あえて提案させていただいた。IC ゲートについてご意見をまとめていただければ。

(C 委員) 皆さん、異論はないと思う。

(全員同意)

(5) その他

- ・今年度、図書館本館とかがみ分館の畳替えを行った。

他のご意見無し 終了